

こんにちは 庄内町議会



No.82
3月議会号
6.5.1



もっともっと明るい
元気な高齢者

庄内町総合体育館
トレーニング室

関連記事 P28

- ◆3年ぶりの減額 〈予算〉 P.2
- ◆みんなが知りたい 〈予算の目玉〉 P.4
- ◆予算委員会否決 〈賛成討論反対討論〉 P.6
- ◆私たちの暮らしは 〈予算特別委員会〉 P.8
- ◆12人が町政を問う 〈一般質問〉 P.15
- ◆開かれた議会へ 〈参考人からの意見〉 P.26
- ◆町民インタビュー P.28

減額予算

可決

3月定例会

会期

3月5日(火)から
15日(金)まで

各会計
補正予算 **5件**

各会計
予算 **8件**

条例
制定 **17件**

条例
設定 **6件**

事件
案件 **3件**

契約
案件 **4件**

人事
案件 **1件**

発議 **3件**

以上47件
原案どおり可決

一般会計

賛成11人 反対2人 (反対討論P7)

令和6年度は、前年度より4億6500万円少ない121億5000万円と、前年度に比べ3.7%減の予算となり、限られた予算の中で最大の効果が発揮できるような予算編成となりました。

収入(歳入)

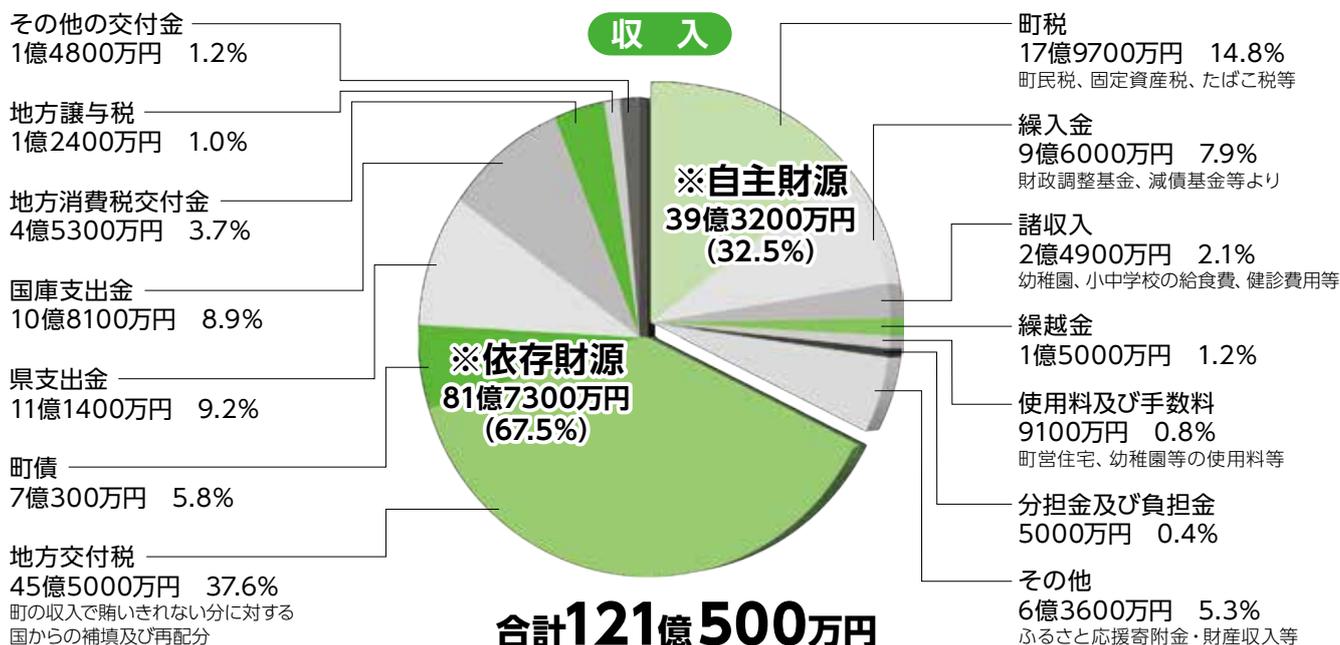
収入では、自主財源となる町税は、令和6年分定額減税による減収などの影響により、7900万円の減額となりました。また、ふるさと応援寄附金は、前年と比較して5000万円減少し、借金にあたる町債は3億円の減額となりました。



企業会計

水道事業	7億9900万円	賛成全員で可決
下水道事業	16億4500万円	賛成全員で可決
ガス事業	7億3100万円	賛成全員で可決

すので、合計値と割合に差異があります)



※自主財源：町が自主的に収入する財源をいう。
※依存財源：国や県から定められた額を収入する財源をいう。

令和6年度 予算

3年ぶりの

支出 (歳出)

支出では、普通建設事業費で図書館整備事業の皆減などで、前年度より5億900万円の大幅減額となりました。また、補助費等では、一部事務組合等への負担金などにより、7400万円の増額となりました。



絵のある図書館 完成

特別会計

国民健康保険	21億200万円	賛成全員で可決
後期高齢者医療保険	3億2700万円	賛成全員で可決
介護保険	30億2500万円	賛成多数で可決
風力発電事業	6000万円	賛成全員で可決

(各予算額を10万円台で四捨五入しています)

その他(予備費・積立金等)
1億3000万円 1.1%

貸付金
3400万円 0.3%

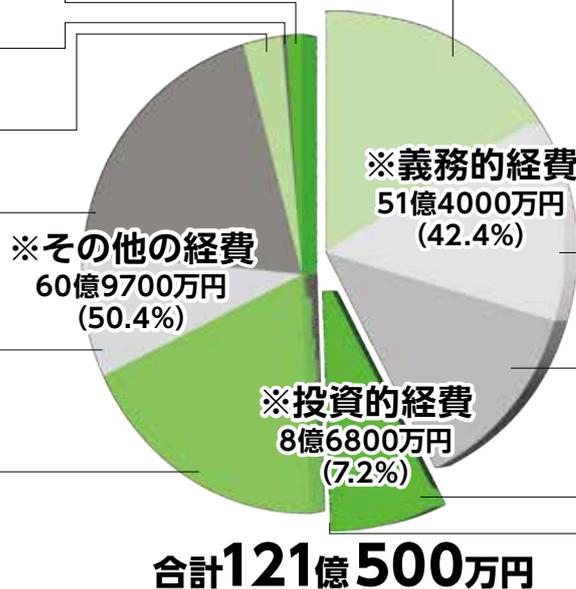
維持補修費
3億1700万円 2.6%

補助費等
23億5600万円 19.5%
一部事務組合等への負担金

繰出金
10億4600万円 8.6%
国民健康保険、介護保険等の
特別会計への繰り出し金

物件費
22億1400万円 18.3%
町施設の電気料、燃料、郵便料、
スクールバス、町営バス経費、
電算委託料、パソコン、備品、
消耗品等

支出



人件費
20億1300万円 16.6%
議員、正職員、各種委員の報酬、給与等

公債費
15億7500万円 13.0%
借入金の元利償還金

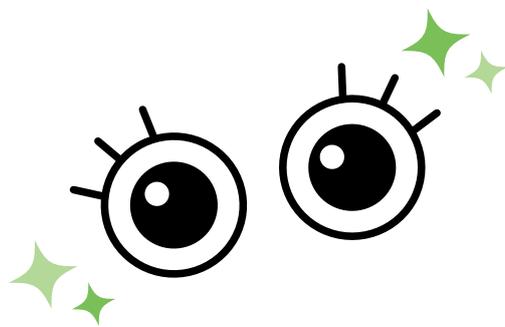
扶助費
15億5200万円 12.8%
社会保障制度の一環として支援する経費

普通建設事業費
8億6500万円 7.1%

災害復旧事業費
300万円 0.0%

※義務的経費：支出が義務付けられ、任意に節減できない経費をいう。
※投資的経費：施設など、財産として将来に残るものの経費をいう。

の目玉



(千本杉 藤立橋)

ふじたちばし 藤立橋の改修

7231万円



丈夫になります (余目新田大橋)

橋梁長寿命化の修繕計画により、耐震化を含めた補修工事を実施します。関係機関と連携し、安全・安心な交通ネットワークを構築します。

余目新田大橋の改修 1億9209万円



中学校から近いね

(武道館)

新武道館整備事業

4100万円

昭和49年に完成した武道館の老朽化に伴い、新たな武道館を同一敷地内に建て替えるため、基本設計等を行います。



今後はここで練習

(第四小講堂)



おつかれさまでした

(体操センター)

老朽化した体操センターを解体します。代替施設として余目第四小学校の講堂を改修し、体操競技練習場を整備します。

体操センター解体 事業及び体操競技 練習場改修事業

9212万円

みんなが 知りたい

予 算

雨水を一時的に貯留する調整池を整備
します。
近年の降雨量や、土地利用の高度化な
どの影響により、余目市街地の一部で
発生している浸水被害を軽減するもの
です。

**庄内町市街地排水
対策調整池整備事業**
4653万円



大雨の備え



冬期もあんしん

**スクールバス民間バス等
運行委託料**
7359万円
スクールバスの冬期運行基準の見直し
を図り、新たに13集落が冬期間スクール
バスの乗車対象に拡充されます。そのう
ち民間バス等運行（冬期スクールバス）
については、1台増の8台で運行されま
す。

土砂災害警戒区域や浸水想定区域、
避難所情報など、防災情報を集約した
Web版の総合防災マップとして公開
します。

**デジタルハザードマップ
導入事業**
413万円



インターネットでチェック

予算特別委員会

一般会計

否決

賛成3

反対9

説明不足



よく見たら古いね

二連の経緯

新武道館建設に異論続出

当初は八幡スポーツ公園内に建設予定

新武道館建設にあたっては、現在の武道館では耐震性がないということから、平成31年2月に庄内町複合型屋内運動施設（仮称）整備基本計画が策定されました。当初は、体育施設と連携した利用が可能な八幡スポーツ公園内に場所の選定が

されていきました。平屋の多目的な運動にも利用できる施設といった内容の説明であり、具体的なおことは図書館整備後に着手するという説明でした。令和2年3月に変更があり、概算建設工事を3億円から4億円としていま

場所・名称の変更
工事費 1億円
以上増

令和6年2月の全員協議会で「令和6年2月変更」（見直し）の内容が示され、建設場所は現在の武道館敷設内とし、概算建設工事を5億円程度に改めました。また、仮称も庄内町複合型屋内運動施設から、庄内町新武道館整備基本計画に変更されました。

基本計画と実施計画を同時発注

令和6年度一般会計予算案に設計業務委託料と地質調査費業務委託料の計4100万円を計上されました。今定例会では、基本計画と実施計画を同時発注

というのは全員協議会で説明はされていません。また、現行の倍の規模の建物面積や駐車場の確保等、当局の説明不足と性急な進め方ではないかと、異論が続出しました。このような経緯から、同設計を含む令和6年度一般会計予算案は賛成3、反対9で否決されました。

賛成した議員：3

五十嵐 啓一
奥山 康宏
石川 武利

反対した議員：9

吉藤 一茂
工藤 晴子
小野 幸美
上野 伊子
渡部 将美
伊藤 和展
加藤 新一
齋藤 秀紀
スルタン
齋藤 秀紀

採決を前に町長が申出

定例会最終日、予算特別委員会委員長審査報告のあと、町長から発言したいとの申し出がありました。

申出内容(町長)
「議会の理解を得て執行したい」

事業を進めるに当たって、疑義の中心となっている基本設計についてであります。基本設計をしたうえで、議会へ報告・説明をし、ご意見を頂く機会をしっかりと設けることをお約束し、議会から理解いただいた上でなければ、実施設計には着手しないということで御理解をいただきたい。

(要約)

本会議

一般会計

賛成 11
反対 2

可決

討論

今回は、予算特別委員会で一般会計が否決され、本会議で町長より申し出があり可決した経緯があったことから、賛成討論者が多くなりました。

反対討論

都市計画税の見直しを

工藤 範子

令和6年度予算、121億5000万は、物価上がりなどで町民が苦しんでいる事に答えていない。公債負担比率16・8%年々増加傾向にあり財政は益々厳しくなっていく。

新武道館建設は、身の丈に合った規模にすべきであり、急ぐ必要はない。都市計画税は目的税であり、事業計画もないから遊佐町のように徴収すべきでない。能登半島地震の大きさを教訓にし、町の防災計画を見直すべきである。以上のことから反対討論とする。

説明が不十分

加藤 将展

(1) 新武道館建設は建設費が5億円に増加し、資料も審議直前に配布され

解した。また「基本設計の内容について、議会の理解を得るまで実施設計に着手しない」との発言があった。これにより新武道館設計業務に対する私の疑義に対応するための発言を頂いたと理解し、一般会計予算に賛成する。

新武道館建設は妥当

五十嵐 啓一

予算委員会で新武道館建設に賛成の立場を踏まえ、次の通り賛成討論します。

説明が不十分。現在の利用登録者は100人程度で、コースやコンサート、能や舞踏等のイベントや書道・写真等の展示会場として多くの住民が使える施設にすべきだ。

賛成討論

疑義が解消

小野 一晴

新年度一般会計予算の争点は新武道館の設計業務委託料だ。

採決前に町長から「基本設計をしっかりと行う」との発言があった。その設計には議会の意見がしっかりと反映されると理

計予算においては反対いたしました。

新武道館建設において、予算が大幅に増額し、基本設計を含め、我われ議員の質問に対し、明確な答弁を頂くことができなかった事に、とても不安を抱いたからです。

しかし本日、町長より基本設計、実施設計についての説明を頂きました。この町長の説明をしっかりと受けとめ、期待いたしましたして賛成したいと考えます。

課題解決の糸口について

石川 武利

令和6年度庄内町一般会計予算に対して賛成討論を行います。一般会計予算121億5000万円が計上され、厳しい財政運営の中で、将来への先行投資を行い町民生活の相乗効果をもたらす予算編成と思います。人口減少に歯止めがきかないと言われ、それは、何も対策を立てなければの裏返しです。企業誘致と雇用の場、高齢化の上昇と雪対策、その他にも多く課題はあるが、これらの解決の糸口が今年度の予算に反映されているため、賛成討論とします。

冬期スクールバス運行予算は妥当

スルタン ヌール

令和5年9月「冬期間スクールバス運行について」の参考人の意見を聴く会で意見があり、令和6年度冬期スクールバスの運行予算に以下の事が含まれていたため賛成討論をさせて頂きます。見直しは3つの視点です。
①通学の距離「集落の基点を公民館から子供達の通学路上の中間付近にする」
②2km以上の集落から概ね1・8kmに引上げる。
③通学距離が1km以上あり、更に建物等で風を遮るものがない距離500m以上の集落がバスの運行対象。梵天町集落は対象になります

賛成した議員：11

- 吉野 幸一
- 小野 晴美
- 上野 幸一
- 五十嵐 啓一
- 渡部 伊君
- 奥山 康宏
- 阿部 利勝
- 伊藤 和利
- スルタン ヌール
- 石川 武利
- 齋藤 秀紀

反対した議員：2

- 加工 藤将展
- 藤 展子

私たちの暮らしは？

予算特別委員会

令和6年度一般会計予算と特別会計・企業会計を含む計8案件を3月11日～13日に審査しました。

一般会計は否決され、企業会計・特別会計は原案どおり可決されました。



委員長 阿部 利勝
副委員長 加藤 将展

全通告内容の一部を掲載しています

No	委員名	発言内容	担当課
1	五十嵐 啓一	○ゼロカーボン推進事業 具体的な事業内容と費用対効果	環境防災課
2	スルタン ヌール	○広報公聴事業 周知の範囲と効果 ○立谷沢地域における高齢者等の生活通行手段の町営バスの利用と活用 ○交通安全対策事業、高齢者運転免許証自主返納支援事業 高齢者の交通面 ○スクールバス、民間バス等の運行委託料 P.10 掲載	企画情報課 環境防災課 教育課
3	上野 幸美	○武道館工事関係委託料 整備基本計画の見直し内容 ○庄内町生殖補助医療費助成金 ○庄内町低所得の妊婦に対する初回産科受診費助成金 ○児童発達支援事業費 障がいや発達に課題のある児童及び保護者の相談及び訪問支援の充実 P.10 掲載	社会教育課 保健福祉課 子育て応援課
4	工藤 範子	○財政シミュレーションの分析と捉えはどうか P.9 掲載 ○要、準要保護児童扶助費（小・中） さらなる援助内容の充実 P.10 掲載 ○工事関係委託料 新武道館の整備時期 ○障がい者社会参加移動支援事業費 事業の対象外となった方の意見は	総務課 教育課 社会教育課 保健福祉課
5	石川 武利	○図書館オープンに向けたイベント及び利用者増対策 P.10 掲載 ○部活動の地域移行の状況と今後は P.11 掲載 ○各種スポーツ大会費用（県、東北、全国大会） ○新武道館の建設 運営及び今後の利活用は ○民俗芸能の振興策 補助金及び各種大会、発表会等は ○庄内町避難行動要支援者避難支援プラン 台帳整理は	社会教育課 教育課 社会教育課 環境防災課

総務・文教・厚生

全質疑内容は議会ホームページの中継録画で閲覧できます。



議会中継

No	委員名	発言内容	担当課
6	吉 宮 茂	○町たばこ税 前年度と比較し、208万3千円の増としている根拠 ○特別職報酬等審議会委員報酬 諮問予定はあるか ○庄内町移住生活支援事業補助金等 補助内容と移住推進 P.9 掲載	税 務 町 民 課 総 務 課 企 画 情 報 課
7	渡 部 伊 君 子	○少子化対策事業 庄内町誕生祝品、入園・進級祝い絵本贈呈事業 P.10 掲載 ○在宅老人対策事業 シニアわくわく応援チケットの内容 P.10 掲載 ○がん対策事業 16才まで引き下げ 対象年齢の拡大の内容	子育て応援課 保 健 福 祉 課
8	伊 藤 和 美	○地域振興 定住促進対策費 退職後の地方移住や二拠点生活の支援は ○クラウド型被災者支援システム構築業務委託料 内容と活用方法 P.10 掲載 ○子育て世帯等訪問支援事業委託料 内容と内訳 ○保健センター空調設備更新工事 産後ケア事業の拡充内容と産後ケア事業委託費の内訳 ○庄内町出産・子育て応援給付金 微増の積算根拠は ○GIGA スクールサポーター委託料 委託先と業務内容	情 報 発 信 課 企 画 情 報 課 子育て応援課 教 育 課
9	奥 山 康 宏	○公金取扱い手数料 公金為替など振込手数料の発生の経緯 ○国民健康保険財政調整基金 微増の要因 ○育英資金貸付基金の貸付状況等 前年度1億円減額したことによる影響は	会 計 室 税 務 町 民 課 教 育 課
10	齋 藤 秀 紀	○少子化対策庄内町モデル 内容は ○新武道館 基本理念の内容は P.11 掲載	子育て応援課 社 会 教 育 課
11	小 野 一 晴	○新武道館設計業務委託料・地質調査委託料 内容は P.11 掲載 ○費用弁償、小中学校再編整備検討委員会の構成と諮問内容 ○公共施設等整備基金積立金 ○令和10年以降の財政計画作成の必要性	社 会 教 育 課 教 育 課 総 務 課

問 生活支援事業補助金について、庄内町移住新事業の推進を図れるように、どのような支援が予定されているのか。

答 余目中学校の長寿命化改修工事の予定である。

問 人口減少で交付税減額は、令和6年度より令和8、9年度の増額が予定されているのか。

答 最大の要因は人口減少である。普通建設事業は令和6年度より令和8、9年度の増額が予定されている。

問 普通交付税は、令和6年度43億5千万円、令和10年度は、41億4千万円、約2億円の減額見込みの要因はなにか。

答 最大の要因は人口減少である。普通交付税は、令和6年度43億5千万円、令和10年度は、41億4千万円、約2億円の減額見込みの要因はなにか。



答 移住により町内のアパートや空き家バンクを利用している人に対して助成措置を講じている。動画配信は今まで10人ほどを紹介している。また、移住者の体験を促すために、移住者交流協議会の設置を検討している。

問 助金と移住スタートアップ応援補助金の内容に、具体的な移住政策として「動画で見る庄内町」の充実と移住者の体験、意見を定住促進に生かしてはどうか。

防災

停電時の被災者受付のシステム化は大丈夫なのか

伊藤 和美委員

問

クラウド型被災者支援システム構築業務委託はどのようなものか。停電時の対応は可能か。また、対応する職員は。

答

ネットワークが途絶されたオンライン環境でも利用可能なシステムで、機能の一つに避難所での入退を管理するアプリがある。職員がすぐに対応できるように取り組みたい。

子育て支援

誕生日祝品は現金にすべき

渡部 伊君子委員

問

誕生日祝品事業は、子育て支援の充実を図り、子育て世帯への経済的支援を行う事業と認識しているか。

渡部 伊君子委員

る。当事者の立場にたつて現金を贈呈すべきと考えるがどうか。

答

商品券を町内の商店で使っていたり、町内の活性化や商工業の発展にも寄与すると考えている。

高齢者

シニアわくわく事業に期待

渡部 伊君子委員

問

昨年までの応募ライフ事業の反省点は活かされているのか。

答

利用できる場所を増やす、高齢者として住民登録している人は誰でも使えることからこれまでの意見は反映されている。



かけがえのない笑顔

教育

令和6年度冬期スクールバス運行は

スルトン ヌール委員

問

令和6年度一般会計予算には、梵天町から学校までの冬期間スクールバス運行委託費が含まれているか？

答

令和6年度からの冬期スクールバスの運行の見直しは3つの視点からです。① 通学の距離「集落の基点を公民館から子どもたちの通学路上の

中間付近にする」
② 2 km以上の集落から概ね1・8 kmに引上げる。
③ 通学距離が1 km以上あり、更に建物等で風を遮るものがない距離500 m以上の集落がバスの運行対象。梵天町集落は対象になる。

多くの保護者に支援を

工藤 範子委員

問

就学援助制度の認定基準を複数設けて年収のハードルを下げより多くの保護者が支援を受けられるようすべきではないか。

答

国や近隣自治体の動向をみながら判断したい。



絵本 たのしいね

児童発達支援

継続内容は

上野 幸美委員

問

児童発達支援は、継続内容を整理して次のステップに繋ぐとある。その内容はどうか。

答

対象を学齢期まで拡大し、特別教育支援員が携わり、児童、保護者に寄り添い早期支援に繋げる。医療的ケア児への支援を始める。

図書館

利用者に特典を

石川 武利委員

問

今年5月にオープンする図書館は多くの町民に利用してほしい。町湯、クラッセ、町内循環バスとのマッチングで利用者へ特典を与えることはできないか。

答

今のところ予定していないが、今後検討したい。

部活動

指導者への謝礼
増やして

石川 武利委員



チームでがんばろう

問 中学校部活動の地域移行については現在準備期間中で進んでいると聞いている。いろいろな受け入れ団体があると思うが、指導者の謝礼についてはどう考えているのか。

答 現在の基準を上回ることが望ましいと考えている。

新武道館

柔道場の精査怠るな

齋藤 秀紀委員

問 畳は、国際規格1m×2mを使用か。

そうです。

問 一試合場にする畳は何畳になるか。

わかりません。

問 安全上、床は、スプリング式かクッション式か。

答 今後検討していく。

問 畳ずれ防止は危険回避から行うと思うがどのようにするのか。

答 今後検討していく。

問 第2試合場の畳は、管理人が準備すると思われる。かなり苦労する課題がある中で、子どもたち

を使って、準備、片付けはないと思うがどうか。

答 柔道関係者からご協力いただくことを想定している。

武道館、基本設計せよ

小野 一晴委員

問 新武道館改築工事を先行して実施することで、後の学校の改築事業に財政的な影響はないのか。

答 社会状況が変化する中で財政的な見直しを立てることは難しい。

問 基本設計しないと施設規模や概算事業費が見えてこない。実際、担当課は、実施設計をしないと分からないとの答弁が多い。令和6年度は基本設計に専念すべきだ。

答 これまでの説明で一定の理解を得ている。このまま進めたい。

全通告内容の一部を掲載しています

No	委員名	発言内容	担当課
1	五十嵐 啓一	○ 6次産業化推進事業 事業の見直し P.12 掲載 ○ 都市下水路維持管理事業 / 市街地排水対策調整池整備事業の具体的内容は	商工観光課 建設課
2	工藤 範子	○ 防雪柵設置撤去委託料 撤去の時期は毎年いつ頃なのか ○ 報酬 都市計画委員 なぜ委員を減じたのか	建設課
3	スルタン ニール	○ 生産調整推進対策事業 食料安全保障の強化に向けた構造転換対策の具体的な事業内容と効果 ○ 中小企業緊急災害等対策利子補給金 対象と予算 ○ 除排雪対策事業 具体的な活動内容 ○ 空家等対策事業 老朽空家解体支援の予算内容	農林課 商工観光課 建設課
4	上野 幸美	○ 八幡公園及びフラワーガーデン指定管理委託料 青菫庵トイレの洋式化は ○ 内水浸水想定区域図作成業務委託料 ○ 余目市街地の範囲、図の活用、調整池効果の反映は ○ 庄内町市街地排水対策調整池整備事業 概要と効果は ○ 市街地排水対策調整池整備にあたり田んぼダムへの取り組みについて検討したか P.12 掲載	建設課 農林課

産業・建設



議会中継

No	委員名	発言内容	担当課
5	石川 武利	○水産業振興事業 養殖魚の販路拡大 ○新産業創造館管理事業 食のアンテナレストランの活用 ○北月山荘管理事業 北月山荘周辺整備	農 林 課 商工観光課 立川総合支所
6	加藤 将展	○地域6次産業化推進事業 内容と進め方 P.13 掲載 ○観光ガイドブックの必要性の検討は P.13 掲載 ○工業団地用地取得の助成金及び産業立地促進資金の貸付金利用状況と見込み ○庄内町建築物耐震診断事業、庄内町木造住宅耐震改修事業及び老朽化空き家の解体支援事業 内容と利用促進	商工観光課 建設課
7	奥山 康宏	○庄内町用地取得助成金 臨空工業団地あまるめの分譲見込み ○市街地排水対策調整池整備事業 場所、排水方法 P.13 掲載	商工観光課 建設課
8	伊藤 和美	○花のPRパンフレットの活用方法や課題は P.12 掲載 ○新規就農者に対する補助金の内容と周知方法 ○若者交流拠点創造事業の目的と実施内容 ○臨空工業団地あまるめへの企業立地の促進の計画内容、企業誘致の課題	農 林 課 商工観光課
9	齋藤 秀紀	○農業費の予算は、農業所得向上につながっているのか ○ふるさと納税寄付金 金額の積算根拠は	農 林 課 商工観光課



儲かる花き生産を確立し PR

農 業

田んぼの治水機能を
活用せよ

上野 幸美 委員

問

松陽地域の排水対策で、市街地に調整池を整備するが、十分か。多面的機能支払交付金活用で、周辺に田んぼダムを推進できないか。

答

南側に池整備するため排水対策は可能と考える。作物の生産への影響が懸念されることから難しい。

花のPRパンフレットの
活用と課題は

伊藤 和美 委員

問

花の生産者を増やし収入を上げるために、どうやって支援していくのか。そのためにパンフレットを活用してはどうか。

答

町内でのイベントや公共施設でも配布している。購買増のために町内外で活用していきたい。

産 業

どうするの6次産業化

五十嵐 啓一 委員

問

6次産業化推進事業に事業費として年間1千2百万円程度、それに関わる職員人件費も含め年間3千万程度の事業を10年も継続してきたが、具体的な成果は見えない。新たに立ち上げた地域ブランド化事業に重点を置き、6次産業化推進事業を廃止すべきではないか。

答

ブランド化事業と6次産業化推進事業とは性質の異なる事業で、開発された商品も多くあり、今後も活動を継続していく。また、ブランド化事業は米を中心とした商品の開発をしている。

ブランド化事業を見直し

加藤 将展委員

問

米のブランド化事業でアドバイザー料を2年間で約1480万円も支払っているが、商品化したものはあるのか。成果がなければ契約を打ち切って事業を見直しすべきではないか。

答

ブランド化には同じ事業者と継続することが大事だ。4月以降、商品が販売される予定である。

観光

パンフレットを作り直せ

加藤 将展委員

問

北月山荘のパンフレットが未だに見直しされていないが、観光ガイドブックの作成予算がないのはなぜか。



この素晴らしい環境を発信

答

予算要求していなかった。今年度作成する。

排水対策

調整池より田んぼダムで治水対策を

奥山 康宏委員

問

令和6年度の新規事業として、市街地排水対策調整池整備事業があげら

答

田んぼダムについては、作物への影響が懸念されることから難しいのではと捉えている。

れている。ゲリラ豪雨などで、一時的に雨水を貯める調整地の機能を有することとしている。約1・7haの農地をコンクリート化する内容であるが、それよりも、田んぼダムによる貯水の方が有効なものではないか。

全通告内容の一部を掲載しています

No	委員名	発言内容	担当課
1	石川 武利	<ul style="list-style-type: none"> ○ 成年後見制度 町長による審判の請求手続き事業費の内容 ○ 成年後見制度利用支援事業費 増額の理由と今後の周知の考え方 P.14 掲載 ○ 認知症サポーター要請講座等の現状と今後 ○ 風力発電施設撤去工事費 工事内容と工事終了後の地元住民関係者への対応は ○ 庄内広域水道事業統合準備協議会費用 経緯と方向性は 	<p>保健福祉課</p> <p>環境防災課</p>
2	伊藤 和美	<ul style="list-style-type: none"> ○ マンホール蓋更新工事 マンホールの素材等 P.14 掲載 ○ 地区ガバナー室の建替えの理由、工事内容 	企業課
3	奥山 康宏	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国民健康保険財政調整基金 微増の要因 ○ 国民健康保険税 所得割、平等割、均等割の内容 P.14 掲載 ○ 風力発電事業 除去関係工事費の内訳と工事時期、基金の清算 	<p>税務町民課</p> <p>環境防災課</p>
4	加藤 将展	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水道管理の耐震適合の今後の取り組み方針 P.14 掲載 	企業課

特別会計

※企業会計含む



議会中継

国民健康保険税

18歳まで無料化せよ

奥山 康宏 委員

問 令和5年度10月から18歳までの医療費は無料化となり、家計の負担は無くなり、たいへんありがたい、この制度により助かっている。さらに、国民健康保険税についても、医療費分と支援金分の均等割について、0歳から18歳までの負担分を半額または無料化にできないのか。

答 未就学児の均等割の軽減は令和4年度から実施されており、それ以上の拡充は考えていない。

保健福祉

成年後見制の周知を

石川 武利 委員

問 身寄りのない人や、親族支援が困難な高齢者であって、本人の資力で成年後見制度の利用に係る費用を負担することが困難な方を対象として、町が成年後見制度の申し立てに要する経費や成年後見人等に支払われる報酬に対し扶助する成年後見利用支援事業がある。周知をすべきと思うがどうか。

答 今後増えて行くことととらえ、周知して行く。

下水道

圧雪の段差対策に断熱マンホールを

伊藤 和美 委員

問 冬期間の道路に圧雪した場合、マンホール部分だけ雪が解けて陥没してしまう。段差があると運転に支障がある。蓋の更新工事の際に、素材の変更や断熱シート等の利用でマンホールの断熱対策を行えないか。

答 現在は考えていない。

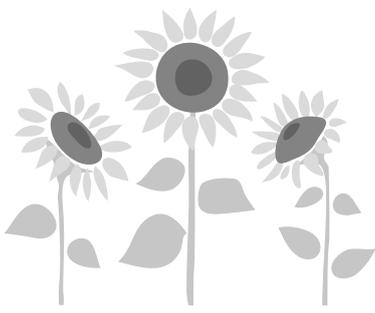
水道事業

統合に備えよ

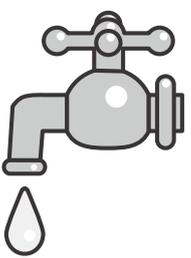
加藤 将展 委員

問 本町は令和8年度に酒田市、鶴岡市と水道事業を統合する。全水道管の敷地面積は酒田市や鶴岡市は本町より広く、地震発生時には、負担割合によって本町のメンテナンスや管理費用の増加とならないか。

答 現在、専門部会で、統合に向けて事務の調整項目の洗い出しや方針について協議を重ねている。



この蓋の上だけ雪が解ける



全通告内容の一部を掲載しています

No	委員名	発言内容	担当課
1	工藤 範子	○令和6年度都市計画税の用途は	総務課/企業課
2	吉宮 茂	○あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト ○情報発信、経済効果、農業振興の点でどう検証していくのか ○新武道館 設計業務委託料 検討が充分とは言えず、更に精査すべきではないか	企画情報課 / 農林課 社会教育課 / 建設課
3	小野 一晴	○入湯税、地域振興費まちなか温泉指定管理委託料 ○入湯税を活用したまち湯経営と課題	商工観光課 / 総務課
4	加藤 将展	○新設される武道館を経済活性化に資する使い方	社会教育課 / 商工観光課

両所管通告



議会中継

12人が 町政を問う

一般質問

3月7日～8日



庄内町議会HP



ラージボール卓球もオリンピック種目になあれ (コメッチ ラージボール卓球教室)

12人29項目の質問(★印を掲載)

- 五十嵐 啓一議員 …… P 16
- ★町湯の運営
- ☆ふるさと納税
- ☆冬期スクールバス運行
- 齋藤 秀紀議員 …… P 16
- ★小・中学校の統合
- ☆町湯の譲渡
- 上野 幸美議員 …… P 17
- ★第9期介護保険事業計画
- ☆パートナーシップ制度導入
- 吉宮 茂議員 …… P 17
- ★新武道館(仮称)の整備
- ☆森林環境譲与税
- ☆町営住宅使用料の算定誤り
- 工藤 範子議員 …… P 18
- ★防災計画
- ☆予算編成
- ☆学校給食費の無償化
- 渡部 伊君子議員 …… P 18
- ★子宮頸がんワクチンのキャッチアップ接種
- ☆とおるくんの学校に行こう
- 奥山 康宏議員 …… P 19
- ★農業振興
- ☆スポーツ振興
- ☆財政指標
- 加藤 将展議員 …… P 19
- ★地震等の危機管理態勢と災害対策
- ☆移住定住の促進策と住民意識の醸成
- ☆生活支援(余目駅トイレの利用、バスへのカート乗り入れ、風車の騒音、熊対策など)
- 伊藤 和美議員 …… P 20
- ★学童保育の民間委託の運営体制
- ☆男女共同参画社会の実現に向けての取組み
- ☆行政の事務処理ミスに対する認識と対策
- 石川 武利議員 …… P 20
- ★にぎやかで活気ある農山村地域の形成
- ☆新産業創造館「クラッセ」の利活用
- 小野 一晴議員 …… P 21
- ★学校における問題行動をとる児童生徒に対する対応
- ☆学校の適正規模・適正配置
- スルタン ヌール議員 …… P 21
- ★空き家対策と活用

12人の提言

一般質問 Q & A

町湯 源泉 独自に確保すべき

町長 現実的ではない



いがらし けいいち 議員 五十嵐 啓一

問 町湯の温泉はJA庄内たがわの敷地内にある源

泉から供給されている。しかし、現在の新余目支所を移転して、土地を売却することになっていく。そうなれば源泉の確保は、常に第三者の意向により町湯の運営が左右されてくる。

現在の源泉も30年経過し、温泉が枯渇した場合や、大掛かりなメンテナンスが必要になった場合、町湯の運営に支障をきたす。

町湯の敷地内に独自の源泉の掘削を行い、安心して事業を継続できるようにすべきである。

町長

JA庄内たがわからは、売却による町湯の源泉及び駐車場への影響について、今後も町湯の営業に支障がないように配慮すると伺っている。町としても、そのようにお願している。町湯敷地内に新たに源泉を採掘することは、様々な手続、関係機関との調整、費用対効果等から、現実的ではないと思っている。



ここに源泉あるにはあるが

学校統合

少子化とめよ

町長 少子化対策 検討委員会設置



さいとう ひでき 議員 齋藤 秀紀

問

庄内町立小学校及び中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針(案)が示された。建物の老朽化と少子化から将来を見通した案ではあるが、建物の



統合の先は 維持

改築、用地取得、長寿命化等、数十億円の費用が見込まれる。財政見通しとしてはどうか。また、この統合は、少子化そのものを解決するものではない。将来的にさらに少子化が進むことは絶対に望まないことから、学校を維持できる少子化対策を最大強化すべきと考えるがどうか。

町長

令和8年度から町債借入額が元金償還額を上回り、町債現在高は増加に転じ、財政状況は厳しくなることが予想される。

基本方針に基づく実施計画に、有利な起債の活用を図る等の財源確保に努めることを盛り込むことも重要と考えている。令和6年度に少子化対策庄内町モデルの検討委員会を立ち上げる。

教育長

中学校は1校、小学校は10年後を目途に2校とするが、将来的に児童数の減少が進んだ場合は1校とするとしている。教育委員会が、児童生徒数の推移などにより、基本方針の見直しを行うとしており、毎年見直しの必要がないか検証することとしている。

介護施設 急げ現場の課題解決
町長 第9期介護保険事業計画を策定



地域介護を支える民間施設



うえの ゆきみ 議員
上野 幸美

問 立川地域の介護施設が、介護職員不足で3月末で休止する。高齢化が進み、多くの課題を抱えるなか、地域への影響は大きい。どう考え具体的に対処していくのか。今後、認知症の増加が

予想される。介護施設を頼るだけでなく、社会全体で認知症を理解し支えることが重要である。地域で見守り共に支え合う社会。第9期介護保険事業計画には、介護医療院も加えられた。深刻化する介護現場の課題をどう検討し盛り込んだのか。

町長 本町の生産年齢人口は、令和7年には5割を切るこ

とが見込まれ、労働力不足、過疎化、高齢化の進展等が懸念される。このような中で、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的の下で、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けることができよう、介護医療院等の設置や業務効率の向上に向けた支援など、解決すべき課題への具体的な取組や方向性を示す、庄内町高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画を策定する予定である。

人材確保では、外国人材の活用や労働環境の改善に向けた介護現場への指導、支援等の取組を、認知症の増加では、ならないようにすることと、地域や家庭での見守りや理解していただく活動の取組を計画に盛り込む予定である。

町長 新武道館 基本計画 どう変わった
町長 現武道館敷地に建設



よしみや しげる 議員
吉宮 茂

問 平成31年2月に策定された、武道館の整備基本計画は、状況変化により計画を見直し、変更点を整理した上で進めていくとしているが、



新しい場所で稽古できるね

次の点について伺いたい。

(1) 主な変更点は何か。
(2) 今後のスケジュールはどうか。
(3) 剣道をはじめとする利用団体等の意見は反映されているのか。

町長 現武道館の老朽化がすすむ中、今後の小中学校の在り方の基本方針が策定されたこと、また、

団体要望等を踏まえ、事業着手のタイミングと判断した。

教育長 主な変更点は、①名称を「庄内町新武道館（仮称）整備基本計画」に、②建設地を現武道館敷地内に、③設計の発注を指名競争入札に、④概算工事費を5億円程度に、⑤財源は、過疎債及び地域武道センター新築事業交付金の活用を図ることなどにしたことである。

今後のスケジュールは、令和6年度基本設計を含む実施設計と地質調査、令和7年度から解体も含めた工事施工、令和8年度の完成を目指していきたい。利用団体と保護者会との話し合いを複数回行い、計画に反映させている。

ここが聞きたい Q&A

12人の提言

一般質問 Q & A

防災

計画 見直しせよ

町長 町防災会議での検討を経て策定



工藤 範子 議員

問 令和6年1月1日の能登半島地震では、家屋の倒壊が多くみられた。本町における住宅耐震診断の実施状況はどうなっているのか。

庄内町地域防災計画には、備える心得などが掲載されているが、議論はされたのか。
また、当該計画の見直しは考えているのか。
町にも「庄内平野東縁断層帯」が町中を通り地震が発生すると震度6強から7になると予想されている。他の地域の経験を踏まえ防災計画の見直しをすべきではないか。



日頃の訓練がものを言う

町長 本町において把握している耐震診断の実施状況は、昭和56年以前に建てられた木造住宅の実施状況であり、現在までに34件実施されている。

庄内町地域防災計画本編は、令和3年3月に改訂している。また、国並びに県の計画との整合性を図るため、県への意見照会や庄内町防災会議での検討を経て策定している。なお、本編の改訂は未定であるが、資料編は毎年度改訂している。

町の計画に加えて、地区の防災計画を立てていただきたい。集落単位、あるいは家族で、避難先、連絡先、必要物品の持ち出しなど、防災士ネットも含めて自主防災組織の活性化に向けてしっかりと進めていきたい。

周知に努め、助成せよ

子宮頸がんワクチン

町長 国、近隣市町村の動向を見て対応



渡部 伊君子 議員

問 子宮頸がんワクチンは、平成25年6月14日付で積極的な勧奨が一時差し控えられた。それにより接種機会を逃して

しまった年代の方々に

ワクチン対象

HPVワクチンの定期接種(公費)の対象者は、小学校6年～高校1年相当の女の子です。また、今年4月の積極的勧奨の再開までに接種の機会を逃してしまった対象者にも改めて接種の機会を設けられます(詳しくは、パート2参照)。



イラスト/アマクラカヨコ

注目して 命の情報 厚生労働省より引用

しまった年代の方々に
対し無料の「キャッチアップ接種」を実施しているが、その実施期限が令和7年3月31日となっている。期限内で接種完了するには、遅くとも夏に一回目を完了すること、ワクチン接種の有効性、安全性をふまえ、正しい情報の周知に努めるべき

町長 本町では、子宮頸がんワクチンキャッチアップ接種の勧奨通知を昨年末に送付したが、問合せなど若干の反応はあったものの、接種件数は大きく増えてはいない。ワクチンは約半年かけて3回の接種を行うことになっているため、遅くとも令和6年夏には接種を開始していただくよう、今後も接種勧奨に努めていきたい。
町独自の助成は、現段階では予定していないが、国や近隣市町村の動向も見ながら、どのような対応策があるのか、注意深く対応していきたい。

大豆栽培

更なる振興を

町長 単価上乘せを検討



国産大豆がだいじ



おくやま やすひろ 奥山 康宏 議員

問 農業の転作物として力を入れて大豆振興について、団地化の要件を、現行では1畝以上の農地集積とされている。令和6年度か

らは、2・5畝以上の農地集積に関しては、さらに10畝あたり1000円上乘せするような内容で提示されている。この数値の根拠については、どのように検討されたのか。

町長 国は、農業再生協議会が作成する水田収益力強化ビジョンに盛り込まれた産地交付金メニューの内容を審査し、予算の範囲内で交付金を配分する。
本町の大豆は、転作から本作へと向かって取り組んでいると捉えられることから、より大規模な団地化への取組みに対して支援が必要と考え、単価上乘せを検討した。
上乘せ単価は、本町の産地交付金メニューが約20種類あるため、バランスが取れるよう考慮した。



地震対策 危機管理態勢強化せよ

町長 周知を強化していく



かとう かつのぶ 加藤 将展 議員

問

昨年11月に町三役と総務課長ら数名の課長が湯の浜で一泊したが、地震等の危機管理上、問題ではないか。
上水道管の耐震適合



避難ルートを再確認

率は13・9%と低く、建物の耐震診断・耐震改修支援件数もこれまで36件と少ない。今後の取り組みはどうか。
地震ハザードマップや活断層について住民への周知を図るべきではないか。
耐震性のない清川体育館が地震の広域避難所に指定されているが、建物が崩壊し、死者が出た場合、町は

どう責任を取るのか。

町長

町三役のほか7名の課長が宿泊したが、環境防災課長を始めとする7名の課長は会議のみの参加で、即対応できる状況にあり、問題はなかったと認識している。
水道管路は、基幹管路も含め老朽経年管を更新している。耐震診断・耐震改修は、支援制度の周知を強化していきたい。

地震ハザードマップは、拡大して分かりやすいように努めていきたい。

清川地区の広域避難所は、発災後の施設点検で安全を確認した上で使用することとしている。使用できないと判断した場合は、立川中学校等へ避難していただくという対応になる。

12人の提言

一般質問 Q & A

学童保育

運営支援はどうか

町長 財政支援し連携強化図る



伊藤 和美 議員

問 保育園や学童保育など民間委託に対する監督義務として、保護者からの苦情が町に届いた場合の対応はどうか。学童保育事業は、子

どもたちが安心・安全に過ごせることが大切である。委託業者の経営の安定と職員の雇用環境確保に努めて頂きたい。余目地区の学童を運営している民間業者から、今後の運営が難しいと相談があつてからのプロセスと町の運営支援を伺う。加えて、公営の立川地域の学童を民間委託する理由を問う。



ていねいに民間委託

町長 監督義務として、児童福祉法等の関係法令のほか、町の条例で定めている基準が遵守されていること、事業の適正な水準が維持されていることを確認し、必要に応じて指導・助言等を行っている。町に苦情が届いた場合は、相談窓口情報を周知するとともに望む対応についてお聞きしている。学童保育では、町直営施設は団体等への移行を検討してきた。余目地区の受託団体からは組織体制見直しの話があり、1年かけて検討してきた。その結果、当該団体に令和6年度から一体的に運営していただくことになった。今後受託団体への財政支援を行いながら、連携強化を図っていききたい。

清川立谷沢

活気ある地区へ

町長 町は地域に寄り添う



石川 武利 議員

問 人口減少時代を迎え、本町においても少子高齢化が進み、特に中山間地域の住民が減少している。清川、立谷沢地区の高齢化率は50%を超えている。両まちづく



おらだの地域は おらだの手で

りセンターでは、令和6年度から指定管理者制度に移行し、地域の重要課題についての事業を計画すると思う。次の点についての考えはどうか。
(1) 青少年（小中高）への地域理解を教える事業について
(2) 地域住民への生活実態アンケート調査について
(3) にぎやかで活気ある地域づくり事業について

町長 (1) 青少年への地域理解と魅力を教える事業は、現在はまちづくりセンター事業や地域の伝統文化事業の取り組みの中で行っている。指定管理者制度に移行してからも重要な取り組みと認識している。
(2) 生活実態アンケート調査は、地域住民の課題やニーズを把握するために有効である。清川地区は令和4年度に実施済みで、立谷沢地区は令和6年度に予定している。
(3) 地域づくり事業は、まちづくりセンターと町が取り組み、一体となり地域を盛り上げていくことが重要である。町は地域に寄り添い、住民がそこに住み続けたいと思えるような取り組みを進めていくことが必要と考えている。

解決せよ

学校の 問題

町長 文科省の制度を研究してみたい



おの かずはる 議員
小野 一晴

問 全国的に学校で問題行動をとる子どもたちが増えており、文科省でも対応を検討している。本町の現状はどうか。

教育長 本町の現状は、程度差もあるが、どの学校でも指



や～めて～

教育長 教員不足は年々進んでおり、本町も同様である。教員が休んだ場合は、教員免許を持っている人が少なくなっているため、講師に臨時免許をとっていただき、教務主任が担任を、校長、教頭も授業に出なければならぬ場合もある。

問 文科省の制度でソーシャルスキルトレーニングができるソーシャルワーカーを配置できる制度がある。先進事例を見ると、このケースワーカーを配置することで劇的に改善しているようだ。本町でも配置してはどうか。

教育長 議員の意見も参考にして、文科省の制度の中身等を研究してみたい。

危険空家

対策を強化せよ

町長 各種制度により支援



スルタン ヌール 議員

問 空き家に関する苦情や相談の内容、対応の状況

はどうか。空き家の活用促進を今後どのように進めていくのか。ワンストップ窓口のサービスをする方が、町民特に高齢者は相談しやすいのではないか。

庄内町老朽空家解体支援事業補助金は、物価高騰により増額する必要があるのでないか。

本町で空き家が売れない理由は何か。空き家を防ぐための対策と危険空家対策の強化策は考えているのか。空き家対策日本一を目指しているか。

町長 空き家に関する苦情の大半は、近隣住民の安全性や住環境の悪化などで



危ないね

ある。その都度、現地確認し適正管理を依頼している。活用促進では、空き家バンク制度の情報発信を強化し、登録85件、成約75件と成果に結びついており、売買が多い。窓口はワンストップとは言えないが、関係課で連携して対応している。庄内町老朽空家解体支援事業補助金の増額は検討していない。空き家を防ぐための対策は、放置しないという意識を持っていただくため、各種支援制度の周知と民間活用も検討していきたい。危険空家対策の強化策は、原則的に所有者等が行うものと捉えており、各種制度により支援していく。空き家が一つでもなくなり有効利用できるように検討していく。

消防団の報酬アップ

議案

消防団の条例が一部改正されました。主な改正としては、団員の年額報酬が一律となり、出勤報酬についても増額となります。

庄内町消防団条例の一部を改正する条例新旧対照表

新

階級等	年額報酬額
団長～部長（略）	
班長	39,000円
団員	36,500円
機能別団員（略）	

出勤等区分		出勤日額報酬額
災害	4時間未満	4,000円
	4時間以上	8,000円
警戒、訓練等	4時間未満	2,000円
	4時間以上	4,000円

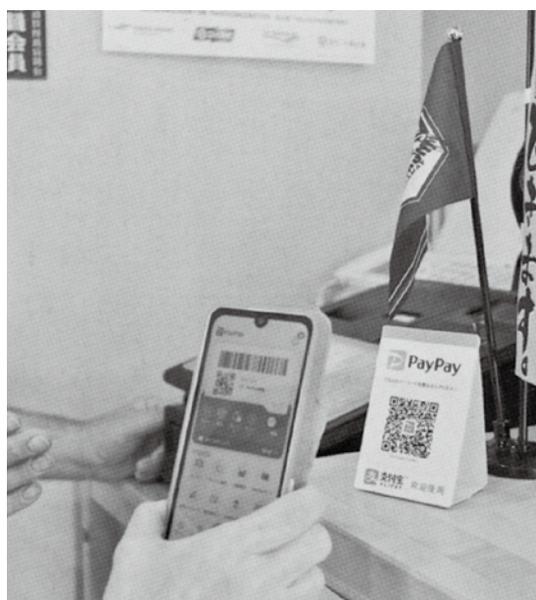
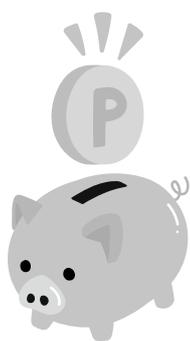
旧

階級等	年額報酬額	
団長～部長（略）		
班長	37,000円	
団員	機関員（自動車）	30,000円
	機関員（手引可搬）	25,000円
	その他団員	20,000円
機能別団員（略）		

出勤等区分		出勤日額報酬額
災害	4時間未満	2,000円
	4時間以上	4,000円
警戒、訓練等		2,000円



威風堂々



令和5年度の一般会計補正予算（第8号）は、2387万円を追加するものです。主な補正は、庄内町キャッシュレス決済ポイント還元事業7288万円等が追加され、賛成全員で可決しました。

庄内町キャッシュレス決済ポイント還元事業

キャッシュレス決済によるポイント還元は15%で、利用期間は6月の1箇月です。

7288万円

介護保険条例

介護保険料の所得段階を9段階から13段階に増やします。これにより、高所得者の標準乗率は引き上げられますが、低所得者の標準乗率は引き下がります。

人事

監査委員

令和6年3月31日で任期が満了することから、再任として提案されました。任期は4年です。

（敬称略）
安藤一雄（下幅）
賛成多数で同意

臨時会 1月23日

令和5年度庄内町の一般会計の補正予算（第7号）は、予算の総額に収入支出それぞれ4940万円を追加しました。

主な支出としては、物価高騰による影響が大きい低所得者世帯に対しての交付金4940万円です。全員賛成で原案通り可決しました。

ガザ地区の人命を守り 人道支援を求める意見書

パレスチナ自治区のガザ地区においてイスラム組織ハマスとイスラエル軍との武力衝突が4カ月以上続いている。この武力衝突により、女性や子供たちを含むガザ地区の一般市民と拉致された人質に大きな犠牲が生じていることは、極めて惨劇的な状況である。一刻も早くこの惨劇を終わらせ人道支援するために左記の事項について強く求める。

記

- 1 ガザ地域の一般市民と拉致された人質の罪のない人命がこれ以上失われることのないように日本国として最善の努力をすること。
- 2 ガザ地区における人道危機を改善するための、水や食料、医薬品、燃料をはじめとする人道支物資の供給に日本国としての最善の努力をすること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和6年3月5日

衆議院議長 額賀福志郎 殿
参議院議長 尾辻 秀久 殿
内閣総理大臣 岸田 文雄 殿
内閣官房長官 林 芳正 殿
外務大臣 上川 陽子 殿

山形県庄内町議会議長
石川 保

賛成多数 僅差で可決

議員による意見書(案)提出の経緯

3月定例会において、スルトン ヌール議員より意見書(案)が提出されました(賛成者:工藤 範子議員、渡部 伊君子議員、奥山 康宏議員、石川 武利議員)。事前の全員協議会で質疑もあつたことから、委員会に付託せず本会議で議決、賛成多数で可決され議長名で意見書を提出することになりました。

争点 外交問題の取り扱いについて

庄内町議会運営規程第33条には「議会が法第99条の規定により意見書を国会又は関係行政庁に提出するときは、その内容により議長は併せて各政党に対し同趣旨の要望書を提出することができる。」一方、同第36条では「議会は、国の外交上又はこれに類する決議等は、行わないこととする。」とあります。主な賛成意見は、「ガザ地区での出来事は極めて惨劇的な状況であり、第36条はあるものの人道に早急に意見書を提出すべきである」と、議員のなかで第36条の解釈が分かれました。今後、外交問題の取り扱いについて議論することとなりました。

主な反対意見

内容は外交問題であり、地方議会は外交・防衛問題など決議すべき場ではありません。地方議会は地方自治法に基づき地方自治に関する事項について議決権を認めており、外交問題に関しては中央政府が主導することを前提としています。地方議会が外交などの問題に介入することは、国家の一体性や利益を損なう可能性があり慎重であるべきです。本議会では、第36条を改正してから行うべきです。

次回

庄内町議会
6月定例会の会期は

6月4日(火)～11(火)の予定です

みなさまの傍聴をお待ちしております。傍聴は短時間でもできます。

※4階議場への昇降が困難な方は、エレベータをご利用いただけます。

なお、介助が必要な方は、議会事務局(TEL 0234-42-0189)へお申し出ください。

発熱など、体調不良の方はご遠慮ください。

インターネット 議会中継 配信中

庄内町議会のホームページからアクセスできます。
(3月定例会中継(LIVE)映像アクセス件数:2038件)

- 図書館ロビー、各地区のまちづくりセンターでも生配信をご覧になれます。
- 会議後1週間程度で、録画配信をしています。
- スマートフォン、タブレットなどでも生中継、過去の映像を視聴できます。

① 庄内町議会検索

庄内町議会



② トップページ画像下の

議会中継 をクリック

※ スマートフォンなら

令和6年 ライブ 全ての
の ライブ ボタンをクリック
するなど。

視察研修 町づくりの糸口を探る

総務文教厚生
常任委員会

少子化社会対策について

出生率日本一に学ぶ 奈義町



令和5年11月28日・29日 岡山県 奈義町

庄内町議会HP



平成17年「1・41」だった出生率を令和元年「2・95」に引き上げた「奇跡のまち」として岸田文雄首相が訪問したことでも知られている。独自の少子化対策として、少子化対策は最大の高齢者福祉と位置づけている。大事なことは住民とのコンセンサス*であるとし、住民みんなで町の未来を考えて、意見の

少子化対策は最大の高齢者福祉
岸田首相も視察 町独自の少子化対策

出生率 令和元年「2・95」に引き上げた
「奇跡のまち」

一致を図っている。

① 奈義町の具体的な子育て支援施策

在宅育児をする保護者に毎月1万5千円を給付

妊娠・出産、子育てまで切れ目ない経済的支援

町の一般会計予算規模は約45億円、うち子育て支援単独事業費は2億円であり、一般会計に占める割合4〜5%である。特徴ある支援として在宅育児をする保護者（育児休業者を含む）に毎月1万5千円の支援金を給付している。（以下は抜粋）

- ・小・中学校の教育教材費を無料化
- ・高校生への就学支援として年額24万円の支援金

- ・高校生までの医療費無料
- ・特定不妊治療を受けた方に県の助成を引いた額の1/2以内で年額20万円を助成

- ・中学3年生までの子どもを育てるひとり親に年額5万4千円を支給。第2子以降は1人2万7千円加算

- ・大学生に町独自の無利子奨学金英金。卒業後に3年間町への定住で全額返済免除

② 産前産後ケアの充実

結婚しても定住したい

出産、子育て等に係るメンタル的支援・機運醸成として、産前産後ケア事業に力を入れている。また、結婚して奈義町を出てしまうことを防ぐための取り組みとして、企業誘致、賃借住宅の整備、分譲住宅地の整備にも力を入れている。

考察

鍵は子育ての安心感

町長から挨拶があった。町への思い、未来に残せるもの、どのように暮らしていきたいか、町長自らメッセージを発信することで、町全体が子育てに力を入れていくのだという意気込みが感じられた。町全体で子育てするのだということとを町内外に発信していくことで、この

町に住み続けたいと思うのだろう。つまり、高い合計特殊出生率の鍵は「安心感」なのだという。子育て世帯の半数以上が子ども3人以上の多子世帯であること、その機運の醸成につながる様々な取り組みは、わが町にも取り入れられることがあると考え



みんなで町の未来を考える

議会常任委員会 所管事務調査

産業建設
常任委員会

新産業創造館の利活用について

日本最先端のプロジェクトに学ぶ 紫波町

令和5年11月15日・16日 岩手県 紫波町



視察相次ぐオガール広場

補助金に依存せず「公民連携元年」を宣言
駅前10・7^分を独自開発

1. オガール*プロジェクト

オガールプロジェクトとは、民間主導型の公民連携で「公用・公共施設整備」と「民間の経済開発」の両立を図るべく進めている。役場庁舎や図書館等の公共施設用地として、平成10年に取得してから約10年間塩漬けだった紫波中央駅前10・7分の町有地を開発するためであった。

平成19年3月議会において『公民連携元年』を宣言。平成21年6月に第3セクター「オガール紫波(株)」を設立し、PPP*(パブリック・プライベート・パートナーシップ)エージェンツ方式で、岡崎正信氏を中心に民間活力の導入を図ると同時にデザイン会議を設置した。民間の理論で「デザインガイドライン」を策定し、

不動産開発の方向性をまとめている。

町は、市民参加条例に基づき、町民の合意形成と担い手づくりに取り組み、構想・計画期における官民の役割分担により開発を推進している。

インフラと公共施設整備において国庫補助を活用しているが、SPC*(スベンチャー・パーパス・カンパニー)による民間施設の整備にあたっては、補助金に依存せず市場から資金調達し自立経営を図っている。

消費活動を目的としない訪問者を増やす

2. 各種施設(抜粋)

オガールプラザ

平成24年に官民複合施設オガールプラザとしてオープンしている。プラザ内にある図書館、地域交流センター、子育て支援センターの公共部分を町に8億1000万円で

売却し、民間部分の施設内にあるテナント(産直マルシェ、歯科クリニック、カフェ、居酒屋、学習塾、貸オフィス等)の管理運営を行っている。

オガールベース

ビジネスホテル(オガールイン)、日本初のバレーボール専用体育館(オガールアリーナ)を活用した紫波スポーツアカデミーの拠点が、入居テナントの管理運営を行っている民間複合施設である。

オガールセンター

施設内には、紫波町子どもセンター、小児科と病時保育室、パン屋、トレーニングジム、英会話教室、美容院、貸オフィス等の管理運営を行っている。

エネルギーステーション

地元除伐間伐材を燃料とする500kwの木質チップ温水ボイラーから、役場、オガールベース、オガール保育園、オガールタウン(57区画)に地域熱を供給している。

考察

官は本気で民間に委ねる勇氣があるか

プロジェクトのキーパーソン岡崎正信氏は「官が本気で民間に委ねる勇氣があるかどうか。民間活力の導入といたしながら既成概念が払拭できず官が口出ししてはうまくいかない。民間も、自分た

ちの仕事が確保されればいいとなりがちだが、自らの町を良くしようとするパブリックマインドがあることが大事で、この二つが成功の大前提だ」と言っているとのことだった。

*オガール：成長を意味する紫波の方言「おがる」と、フランス語で駅を意味する「Gare(ガール)」を組み合わせた造語

第8回参考人の意見を聴く会



予算特別委員会において2人の町民に、参考人として議場で意見を述べてもらいました

庄内町議会HP

※要約、抜粋で掲載

《氏名》^{たき}瀧あつ子
《集落》中村



担当議員 スルタン ヌール

移住・定住の交通面と生活について

(議員) 庄内町に移住した理由をお話ください。

人の温かさ
自然美に惹かれて

(参考人)

出身は東京都で、令和5年9月に父が住職を務めている立谷沢地区に移住しました。当寺には幼少の頃から手伝いで訪ねており、現地の方々の温かさ、美しい景色、地元の料理などにいつも感動していました。自然も人もおおらかな庄内町なら、心豊かに生きていけると感じたことが移住決意の大きな理由です。

(議員) 移住後に感じたことをお話ください。

移動手段が不便

(参考人)

移動手段に不便さを感じています。車がなければ生活は難しいと実感しており、公共交通機関の利便性を高めることが、この地域の自然を気に入られた方の移住の決め手となるのでないかと思えます。

(議員) 移住先として庄内町を選択するにあたり、何か気づいたことなどはありますか。

町から積極的な情報発信を

(参考人)

移住者が就職先を決める場合、就労支援を受けられる働き口の選択肢が沢山あることも、移住の大きな決め手になるのではないのでしょうか。それから、動画などで庄内の言葉を学べたら、よりスムーズなコミュニケーションを図ることができ、その響きから温かい土地柄が伝わることと思

います。また、庄内町探訪ツアー（景色・食・歴史等）がありましたら、町の全貌をつかめて魅力も直接紹介できるのではないのでしょうか。そして、日頃の庄内町からの様々な情報は、移住者にとり地元の方と交流の機会をもつ上でとても貴重なツールになるかと思

《氏名》^{くにもと みずすず}國本美鈴
《集落》駅前



担当議員 奥山 康宏

庄内町しごと創造（起業・創業）と新産業創造館クラッセ

(議員)

令和5年度に取り組まれていた「庄内町しごと創造支援拠点整備検討にかかるワークショップ」についてお話ください。

「地域の稼ぐ力」の向上を

(参考人)

令和2年7月に東京か

ら庄内町に移住し、令和4年8月まで庄内町地域おこし協力隊観光PRプロデューサーとして、新しい気龍祭の立ち上げを含む活動を行ってまいりました。

「庄内町しごと創造支援整備検討にかかるワークショップ」では、少子高齢化、若年者の転出超過のなか、持続的に発展する活力ある地域づくりを進めなければなりません。そのためには、創業等の促進、雇用の場の確保等、「地域の稼ぐ力」の向上で若年者の地元定着、地域経済の好循環を生みだしていく必要があります。庄内町でも昨年度の商工会での創業相談件数は23件、新規開業4件と、創業に関する相談やサポートの需要があることがわかります。

(議員) では、活動されてきた中でのご提案をお話ください。

貸しオフィス等を備えた新たな交流拠点を

(参考人)

一つ目は、コワーキングスペースや貸しオフィ

ス、貸し会議室等を備えた新たな交流拠点となる施設を庄内町に整備することです。一つ目に、ターゲットを庄内町だけに限定せず、庄内地方、最上地方を含む近隣市町村に置くことです。二つ目に、ハード面だけでなくソフト事業で特色を出していくことです。

(議員) クラッセの「食のアントナレストラン」を整備するとすればどうなりますか。

食の魅力を発信

(参考人)

食は人の興味を引きつけるものであります。食のアントナレストランについては、来年度以降まずは「チャレンジ食堂」のような位置づけとし、飲食店経営をしてみたいという方向けに、数日または数ヶ月単位で場所を貸して、お試し出店の出来る場としていけば、まさに食の「新産業創造」が出来る場となるのではと考えます。また、令和6年度は創業支援等の交流イベントをこの場で開催していく予定です。

○よりいそいで議会傍聴へ（アンケート等）

議員へ

・質問した事項に対して、答弁が「前向きに検討します」が多いように感じました。質問側もその後どのようなふうになったか追求してほしいです。
 ・3月定例会は町政施策のふりかえり気付き見直し、新たな取り組みの一番重要な会議です。町長・議員の皆様・職員の皆様、どうか宜しくお願ひします。

議会全体へ

・再度の願望ですが日曜日・祝日での定例会（一般質問）を開催して欲しいです。傍聴人が少ないからです。
 ・起立表決の際に、議長が「起立しない者は否とみなす」との宣告は、可否の意思表示を確定させるものであり、これによって氏名の公表、賛否の公表を適正な根拠とすることにより、とても良い運営と思います。
 ・「1円足りとも税金」町長、職員は1円まで責任を持つて施策に取り組んでほしい。もっと勉強すべきだ。情けないと思った。
 ・庄内町の人口、大規模事業計画、財政状況、しっかりと10年間は把握、説明するべきだ。
 ・人口問題、少子化対策の第一歩は、「給食費の無償化」実施である。町長の判断を期待したい。
 ・図書館建設の問題、武道館建設、学校適正化等、

全てに共通することは、町の進行のあり方だ。基本計画、実施計画、評価の課題のくり返しだ。財政の先の見通しが出来ない。基本計画なしに実施し、その都度協議する？

・誕生お祝い金や庄総高校生の支援金は「ゆりカード」ではなく、現金支給（振込）か電子マネーでお願いします。本場に当事者が喜んで使えるものに変えるべきである。施策目的からずれているのではないか。

その他

・何回か傍聴していますが、今回は類似している質問も少なく、活気があり良かったです。
 ・ハッキリ聞き取れないことがある。
 ・答弁が消極的と思う。
 ・マイクまでの距離が長く、言っていることがわからない方があった。

議会より

一般質問、予算特別委員会のやりとりについてさまざまな意見を頂きました。
 ご批判を受けるような内容の意見については、真摯に受けとめなければならぬと感じております。
 これからもご意見を頂き、参考にさせていただきます。ただだければと思います。



アンケート集計結果（12人中）

- ① 傍聴にきてよかった …… 7人
 - ② 勉強になった …… 3人
 - ③ おもしろかった …… 0人
 - ④ 緊張感があった …… 3人
 - ⑤ 議会が頑張っているのがわかった …… 2人
 - ⑥ 町の動きがわかった …… 7人
 - ⑦ 議会のやりとりがわかった …… 10人
 - ⑧ 議会のやりとりがわからない …… 0人
 - ⑨ 質問の主旨がわからない …… 1人
 - ⑩ 答弁が適切でない …… 0人
 - ⑪ ネット中継で十分だと思った …… 0人
 - ⑫ 議会の熱意が伝わらなかった …… 0人
- （12項目・複数回答）

令和6年3月定例会 傍聴者数 27人

5日(火)	議案等審議	3人
6日(水)	議案等審議、 予算特別委員会 各常任委員会	2人
7日(木)	一般質問	4人
8日(金)	一般質問	4人
11日(月)	予算特別委員会	1人
12日(火)	予算特別委員会	1人
13日(水)	予算特別委員会	8人
14日(木)	休会	
15日(金)	議案等審議	4人

町民へのインタビュー



皆さんの目標は？

マイペース、
通い続けること



問 トレーニング室には週何回通っていますか。
Aさん 5〜6回です。
Bさん 4回です。
Cさん 3回です。

問 トレーニング室に通うきっかけは何ですか。
Aさん 孫の世話から離れたからです。
Bさん テレビで「元氣高齢者」番組を見て自分もやりたいと思ったからです。
Cさん 前からウォーキングをしていたからです。

問 目標はありますか。
Aさん 特にないが通い



問 要望はありますか。
Aさん もっと多くの高齢者に来てほしいです。
Bさん 私たちと友だちになつてほしい。
Cさん トレーニング室で何かイベントを開いてほしい。宣伝してほしいです。

問 トレーニング室利用には満足していますか。
全員 満足しています。

問 トレーニング室利用は満足していますか。
全員 満足しています。

総合体育館トレーニング室では、老若男女問わず、多くの町民の皆さんが汗を流し、元氣な姿で健康づくりに力を入れています。開館と同時に集まった方々にお話をお伺いしました。

議事事務局新体制

今回の人事異動により議事事務局長として齋藤登さん、議事事務局書記として佐藤一祝さんが新たに着任しました。

また、監査委員事務局長として高梨美穂さんが着任し、議事事務局書記も併任となり佐藤博子書記と4人体制の議事事務局になりました。

花き提供

庄内町花き振興会より議場に生花を寄贈いただきました。



町民と語る会報告

令和5年度の町民と語る会は、次のとおり開催されました。

- 1回目 5月 上朝丸町内会
- 2回目 10月 狩川地区自治会長
- 3回目 11月 商工会
- 4回目 11月 町内全域対象
・響ホール会場
・立川複合拠点施設会場
- 5回目 12月 庄内たがわ農協

詳細は議会ホームページにてご覧ください。

11月から令和6年の2月にかけて、議員が2名ずつ余目ロータリークラブの例会にお招きいただき、「地域に夢と希望を生み出そう」をテーマにお話をさせていただきました。

「語る会」は、各種団体はもとより、小さなサークルにもお伺いしますのでお気軽にお声かけください。



今年の冬は例年になく雪不足で、農繁期を迎える農家においては、代掻き用の農業用水が行き渡るか危惧されます。全国的に暖冬かと思えば、桜の開花は昨年より進度は遅く、あらためて異常気象を実感するところであります。

庄内町庁舎内の定期人事異動をみますと、課長級は14ポスト中11人が異動となり、まさに春の嵐のごとくりフレッシュされた人選となりました。ぜひ皆さまからも新体制になった6月議会を傍聴していただければ幸いです。
(奥山 康宏)

発行人

議長 石川 保
議会広報常任委員会

- 委員長 阿部 利勝
- 副委員長 渡部 伊君子
- 委員 石川 武利
- 委員 スタン ヌール
- 委員 奥山 康宏
- 委員 伊藤 和美